

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	村山市 (62081)
地域名 (地域内農業集落名)	富本地域 (楯、宝、天神、上久保、下久保、下小路、矢木沢、山際、中ノ目、下荒敷、上荒敷、北山、上ノ宿、巾木田、上中宿、下中宿、新田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	413.59 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	412.19 ha
② 田の面積	282.84 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	130.75 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	69.18 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	32.31 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	169.38 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	152.17 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>当地域は、水田面積の割合が大きく、水稻を中心に果樹、野菜などが主となっている。          高齢の農業者が多く、担い手が少ないことから、今後、持続的な農地の利用を図りながら、地域の活性化を進めるためには、新規就農者などを確保、育成していくことが重要である。          富本地域の担い手は、新たに経営規模の拡大を行う余裕がなく、今後、法人などの組織化による、規模拡大等について検討していく必要がある。          草刈りや泥上げ作業など、管理組合で水路等の維持管理を行っているが、高齢化や人手不足により、今後の維持管理の方法についても課題となっている。          また、さくらんぼなどの収穫時期の人手の確保も課題となっている。</p>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稻、果樹、野菜を中心とした複合経営、地域の農業・農地を継承するため、新規就農者や後継者の確保を図りながら、技術指導や助言等によって育成を図る。          作業効率を高めるため、点在している水田の集約化、樹園地や畑地などの団地化について検討する。          また、担い手を確保するため、富本地域内での法人などの組織化や、他地域などからの参入についても、検討が必要である。          果樹などの収穫時期の人手の確保については、今後、シーズンワーカーや外国人労働者などを活用することも考えられる。</p>
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
地域内で耕作をしている法人や認定農業者などの担い手を中心に、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を図る。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	47 %	将来の目標とする集積率	90 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手間の調整等を行い、農地中間管理機構を軸としながら、県、農業委員会、関係機関と市が一体となって農地の利用調整に取り組み、分散錯圃の状況を改善し、担い手の農地の連坦化や団地面積の増加を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手への集積率は現在約50%であり、農地中間管理機構を活用し、10年後の目標として90%を目指す。また、担い手の農地交換等を中心に、点在している農地の集約化を進め、農地の分散を解消することで生産性の向上を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向を踏まえ、段階的に農地の集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
担い手や地域のニーズを踏まえ、基盤整備事業を検討し、取り組んでいく必要があり、耕作条件が不利な圃場は基盤整備を進め、農地の集積、集約化を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
県、市等関係機関が連携し、地域内外から多様な経営体の参入について、調整や検討を行い、相談から定着まで連携した取組を実施する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内の農作業の効率化を図るため、地域の中心となる担い手への作業委託を積極的に行うことを検討するが、隣接する地域等の担い手への作業委託も考える必要がある。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- 1)近年、クマやイノシシの目撃情報が多く、行政や関係機関、猟友会、農業者を含む地域住民が一体となり、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制をつくる。具体的な活動として、追払い、電気柵の設置などによる防護、捕獲を組合せた対応を行う。
- 3)土地利用型作物の栽培の省力化には、スマート農業の取組が不可欠であり、担い手や市、県のほか関係機関が協力して導入を推進する。また、基盤施設のRTK基地局などの整備の検討を進める。
- 8)「農業用施設」の導入については、法人化の検討も踏まえ、JA、市、地域の担い手などが十分に協議しながら検討していく。
- 10)畑地化について、将来の耕作の維持継続を考慮した取組を検討する。



4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha		
2	利用者	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.9 ha	ha		
3	認農	水稲、そば	16.7 ha	ha	水稲、そば	25.6 ha	ha		
4	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha		
5	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
6	認農	水稲、そば、果樹	1.9 ha	ha	水稲、そば、果樹	2.7 ha	ha		
7	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
8	認就	水稲	9.9 ha	ha	水稲	13.4 ha	ha		
9	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha		
10	認農	水稲	2.9 ha	ha	水稲	4.7 ha	ha		
11	認農	野菜	0.3 ha	ha	野菜	0.3 ha	ha		
12	認農	水稲、大豆	0.6 ha	ha	水稲、大豆	2.2 ha	ha		
13	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha		
14	認農	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha		
15	利用者	水稲	0.4 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha		
16	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha		
17	利用者	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.1 ha	ha		
18	利用者	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
19	認農	水稲	5.1 ha	ha	水稲	4.8 ha	ha		
20	認就	水稲、野菜	9.7 ha	ha	水稲、野菜	9.5 ha	ha		
21	認農	水稲	3.8 ha	ha	水稲	3.9 ha	ha		
22	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
23	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha		
24	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha		
25	認農	水稲	4.4 ha	ha	水稲	5.1 ha	ha		
26	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	1.5 ha	ha		
27	認農	水稲	0.9 ha	ha	水稲	1.6 ha	ha		
28	認農	水稲	0.9 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha		
29	認農	水稲、果樹	11.4 ha	ha	水稲、果樹	12.3 ha	ha		
30	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha		
31	認農	水稲	2.8 ha	ha	水稲	2.8 ha	ha		
32	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha		
33	認就	水稲	2.7 ha	ha	水稲	4.7 ha	ha		
34	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha		
35	認農	水稲、野菜、果樹	0.5 ha	ha	水稲、野菜、果樹	0.5 ha	ha		
36	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha		
37	利用者	水稲	0.2 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha		
38	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.4 ha	ha		
39	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
40	利用者	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
41	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha		
42	認農	果樹、水稲	0.8 ha	ha	果樹、水稲	0.8 ha	ha		
43	利用者	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
44	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
45	認農	野菜	3.1 ha	ha	野菜	3.1 ha	ha		
46	認農	水稲、果樹	6.2 ha	ha	水稲、果樹	9.1 ha	ha		
47	認就	水稲、野菜	8.8 ha	ha	水稲、野菜	10.1 ha	ha		
48	利用者	水稲、野菜	1.4 ha	ha	水稲、野菜	1.6 ha	ha		
49	認農	水稲、そば、果樹	17.8 ha	ha	水稲、そば、果樹	18.9 ha	ha		
50	利用者	水稲	1.0 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
51	利用者	水稲	0.6 ha	ha	水稲	0.6 ha	ha		
52	認就	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
53	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
54	認農	水稲	3.5 ha	ha	水稲	3.5 ha	ha		
55	利用者	水稲	1.0 ha	ha	水稲	0.2 ha	ha		
56	利用者	水稲	0.5 ha	ha	水稲	0.5 ha	ha		
57	利用者	水稲	3.3 ha	ha	水稲	5.2 ha	ha		
58	認農	水稲	1.2 ha	ha	水稲	1.2 ha	ha		
59	認農	水稲	1.4 ha	ha	水稲	1.6 ha	ha		
60	利用者	水稲、野菜、果樹	0.3 ha	ha	水稲、野菜、果樹	0.3 ha	ha		
61	認農	水稲、果樹、野菜	0.0 ha	ha	水稲、果樹、野菜	2.0 ha	ha		
62	認農	水稲、果樹	0.0 ha	ha	水稲、果樹	1.2 ha	ha		
63	利用者	水稲	0.3 ha	ha	水稲	0.3 ha	ha		

64	利用者		水稻	0.3	ha	ha	水稻	0.3	ha	ha		
65	利用者		水稻	2.3	ha	ha	水稻	2.3	ha	ha		
66	認農		水稻	3.0	ha	ha	水稻	4.0	ha	ha		
67	利用者		水稻	0.9	ha	ha	水稻	0.7	ha	ha		
68	利用者		水稻	3.5	ha	ha	水稻	3.5	ha	ha		
69	認農		水稻	1.1	ha	ha	水稻	1.1	ha	ha		
70	利用者		水稻	0.6	ha	ha	水稻	0.6	ha	ha		
71	認農		水稻、野菜	1.3	ha	ha	水稻、野菜	3.5	ha	ha		
72	認農		水稻、果樹、野菜	2.7	ha	ha	水稻、果樹、野菜	4.0	ha	ha		
73	利用者		水稻	1.0	ha	ha	水稻	1.0	ha	ha		
74	認農		水稻	3.0	ha	ha	水稻	3.0	ha	ha		
75	認農		水稻	0.2	ha	ha	水稻	0.2	ha	ha		
76	認農		水稻	4.3	ha	ha	水稻	3.7	ha	ha		
	計	76経営体		165.8	ha	ha		198.1	ha	ha		